

2025年12月19日

オーストラリアの多文化主義政策について ～ニューサウスウェールズ（NSW）州の取組を中心として～

一般財団法人自治体国際化協会シドニー事務所 研修生 桑野 翔

1. オーストラリアの多文化の現状について

オーストラリアは1970年代から多文化主義政策を実施し、国の基本方針として、多様な文化背景を持つ人々が共存できる社会の形成を目指してきた。現在では、全人口のうち海外生まれまたは両親のどちらかが海外生まれである者の割合は51.5%に達し、国民の2割以上が家庭で英語以外の言語を使用している。

オーストラリアでは、多様性を国家の強みとして認識し、移民は社会の多様性を支える重要な構成員として位置付けられ、移民と地域社会の相互理解が促進されている。日本でも、政府が目指すべき外国人との共生社会のビジョンとして、外国人を含む全ての人が社会に参加し、能力を最大限に発揮できる、多様性に富んだ活力ある社会を示している。

2. NSW州の取組

当協会シドニー事務所では本年11月に、日本の自治体職員等を対象に約1週間にわたる豪州多文化主義政策交流プログラムを実施した。本プログラムでは、日本での多文化共生社会施策に生かすことを目的に、NSW州多文化省などの行政機関や移民への支援を行う非営利団体への視察及びヒアリングを行った。

（1）州政府の取組

NSW州はオーストラリアで最も人口の多い州で、人口の29.3%が海外で生まれ、州内では283以上の言語が話されている¹。州政府は「多様な文化が共存することは社会の強みである」という理念のもと、異なるバックグラウンドを持つ人々が安心して生活できるよう戦略²を策定し、地域での多文化イベントや教育支援などを実施している。また、様々な言語や文化背景を持つ住民が、言語



（写真）豪州多文化主義政策交流プログラムでカンバーランド市からの説明の様子

¹ NSW州多文化省提供資料

² 「多文化主義戦略 2021—2025」、「定住促進戦略」

の違いにかかわらず公共サービス・教育・医療・法制度を享受できるよう、120以上の言語・方言に対応した翻訳・通訳サービスを提供している。

さらに、住民向けの多文化理解促進策として、地域で開催される多文化フェスティバルやイベントへの助成金による支援を行っており、2024年から2025年の一年間で135件のイベントに対し、合計97万豪ドル（約9,800万円）の支援を行った³。イベントでは、他国料理の提供や伝統的な音楽・ダンスのパフォーマンスなどが行われ、異文化理解と相互尊重の意識の醸成が進められている。

加えて州政府は、年に2回、地域住民へのアンケートを実施し、多様性についてどのように考えているか、生活の中でどの程度異文化の人と関わるかなど多岐にわたる項目により、地域の多様性を評価し、次の戦略策定や施策に活用している。

（2）非営利団体の取組

多文化・移民コミュニティの代表機関である「NSW州民族コミュニティ評議会」には300以上の非営利団体や民族コミュニティ組織が加盟し、政府や産業界への課題の提唱や選挙制度に関する多言語教育などの多文化支援が行われている。

また、多文化支援を行う団体の一つである「アドバンス多様性サービス」は、連邦政府や州政府からの資金提供を受けて、移民や難民を対象に、様々なプログラムを多言語・多文化に対応し提供している。例えば、定住支援として、住宅、学校、仕事などに関する情報の提供やスキルと知識習得のためのワークショップの開催などを行っている。さらに、多様な伝統文化・芸術や歌・踊りなどを学ぶクラブ活動のほか、高齢者介護支援や障がい者支援も実施している。

3. 今後の可能性

在住外国人が生活していくためには、公共サービスや正しい情報に容易にアクセスできることが大切だと思われる。全ての言語に対応することは困難であると思うが、例えばウェブサイトにPDFではなく、テキストで掲載することで、機械翻訳を活用し、在住外国人の母語での情報取得が容易になるのではないだろうか。また、地域での多文化イベントを開催し、異文化に触れ、在住外国人と関わる機会を設けることで、在住外国人と地域住民の相互理解が促進するのではないかと考える。

本県の在住外国人数は今後も増加していくことが予想され、地域住民と在住外国人との共生がさらに重要となってくる。今後もオーストラリアの多文化主義政策の動向を注視しつつ、情報収集に努めたい。

※為替レート 1豪ドル=101.2円

³ 「Multicultural NSW Annual Information Statement 2024-2025」